

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年12月15日(2023.12.15)

【公開番号】特開2023-119046(P2023-119046A)
 【公開日】令和5年8月25日(2023.8.25)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-160
 【出願番号】特願2023-113092(P2023-113092)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
 【提出日】令和5年12月6日(2023.12.6)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
 【請求項1】

発射手段により発射された遊技球が案内される遊技領域と、
前記遊技領域を移動する遊技球が入球可能な特定領域を有する特定領域手段とを備える遊
技機において、
前記特定領域手段は、
前記特定領域を移動する遊技球が入球可能な特別入球部と、
前記特別入球部に入球した遊技球を検知する特別入球検知手段とを備え、
少なくとも前記特別入球検知手段の検知に基づいて遊技者にとって有利な特別遊技状態が
付与され、
特定条件の成立に基づいて、前記特定領域手段が遊技球の前記特定領域への入球を許容す
る許容状態とされ、前記特別入球部への遊技球の入球が可能な状態とされ得る構成であり

30

、
前記特定条件が成立し、前記特別入球検知手段の検知が行われるまでの所定期間に特定演
出を導出可能な特定演出手段を備え、
前記遊技機は、前記特定演出手段によって遊技球が前記特別入球検知手段に検知される前
に前記特定演出が終了され、当該特定演出に続き前記特定領域を移動する遊技球の挙動が
視認可能であって当該遊技球が前記特定領域を移動する場合に実行される演出を導出可能
に構成され、前記遊技球が前記特別入球部に入球したことに基づいて前記特別遊技状態の
発生を教示する演出を導出可能とする第1演出手段と、前記特定演出手段による前記特定
演出を前記特別遊技状態の発生を教示する演出が実行されるまで継続して実行されるよう
に導出可能とする第2演出手段とを備えていることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0006
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0006】

本発明の遊技機は、
発射手段により発射された遊技球が案内される遊技領域と、

50

前記遊技領域を移動する遊技球が入球可能な特定領域を有する特定領域手段とを備える遊技機において、

前記特定領域手段は、

前記特定領域を移動する遊技球が入球可能な特別入球部と、

前記特別入球部に入球した遊技球を検知する特別入球検知手段とを備え、

少なくとも前記特別入球検知手段の検知に基づいて遊技者にとって有利な特別遊技状態が付与され、

特定条件の成立に基づいて、前記特定領域手段が遊技球の前記特定領域への入球を許容する許容状態とされ、前記特別入球部への遊技球の入球が可能な状態とされ得る構成であり

、

前記特定条件が成立し、前記特別入球検知手段の検知が行われるまでの所定期間に特定演出を導出可能な特定演出手段を備え、

前記遊技機は、前記特定演出手段によって遊技球が前記特別入球検知手段に検知される前に前記特定演出が終了され、当該特定演出に続き前記特定領域を移動する遊技球の挙動が視認可能であって当該遊技球が前記特定領域を移動する場合に実行される演出を導出可能に構成され、前記遊技球が前記特別入球部に入球したことに基づいて前記特別遊技状態の発生を教示する演出を導出可能とする第1演出手段と、前記特定演出手段による前記特定演出を前記特別遊技状態の発生を教示する演出が実行されるまで継続して実行されるように導出可能とする第2演出手段とを備えていることを特徴としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0007

【補正方法】 削除

【補正の内容】

10

20

30

40

50